

日本国際協力システム 年報



2003

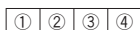
JICS概要

2005年2月1日現在

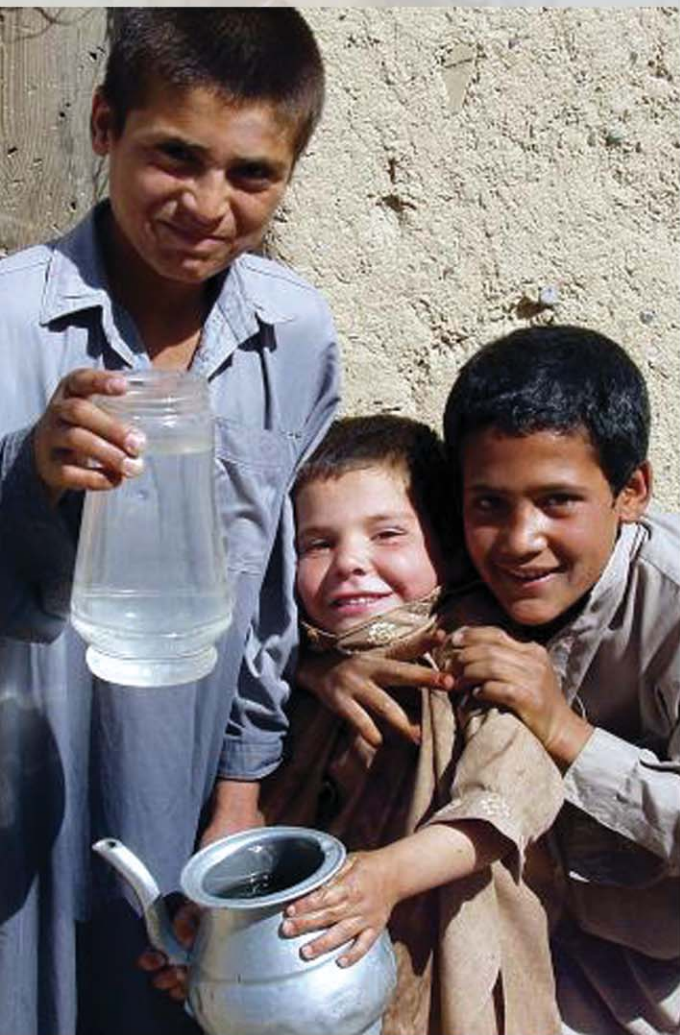
- **団体名：** 財団法人 日本国際協力システム
Japan International Cooperation System (JICS)
- **所在地：** 〒162-0067 東京都新宿区富久町10番5号 新宿EASTビル 5、6階
代表連絡先：TEL. 03-5369-6960 FAX. 03-5369-6961
E-mail: jics@jics.or.jp URL: http://www.jics.or.jp/
- **役員：** 理事長 佐々木 高久 専務理事 櫻田 幸久
- **設立：** 1989年4月12日（外務大臣の許可）
- **基本財産：** 3.87億円
- **事務局人員数：** 149名
- **事業目的：** JICSは、日本の経済協力分野のうち二国間贈与事業を中心とする事業の適正かつ効率的な実施に協力することにより、一層質の高い国際協力を推進し、それによって世界経済の発展と友好に寄与することを目的とします。
- **事業内容：**
 1. 政府開発援助（ODA）の一部である無償資金協力事業及び技術協力事業並びに借款事業の適正かつ効率的な実施の促進に資するための活動
 2. 上記事業に係る援助完了後のフォローアップ及びアフターケア活動
 3. 国際協力事業を効果的に実施するための調査、研究
 4. 国際協力事業推進のための啓発・支援活動
 5. その他本財団の目的を達成するために必要な事業
- **在外事務所：**

<p>カンボジア事務所 Office No. 14, Hotel Sofitel Cambodiana 313 Sisowath Quay, Phnom Penh, Cambodia Tel: +855-23-219350 Fax: +855-23-219350 e-mail: JICSPNH@bigpond.com.kh</p>	<p>アフガニスタン事務所 House No.579, Street No.15, Wazir Akbar Khan Kabul City, Afghanistan Tel: +873-7613-25827 Fax: +873-7613-25828</p>
<p>モンゴル事務所 Bodi Tower, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia Tel: +976-11-318423 Fax: +976-11-312549 e-mail: jicsub@mongolnet.mn</p>	<p>マダガスカル事務所 4e étage, Bâtiment de la Réunion Isoraka, Antananarivo, Madagascar Tel: +261-20-22-601-90 Fax: +261-20-22-602-09 e-mail: manantena_jics@wanadoo.mg voahangy_jics@wanadoo.mg jicstana@wanadoo.mg</p>
<p>ベトナム事務所 Room No. 226, Nguyen Dinh Chieu Hotel, 23 Nguyen Dinh Chieu Street, Hai Ba Trung District, Hanoi, Vietnam Tel: +84-4-8315005~8 Fax: +84-4-8315009 e-mail: jics.hanoi@fpt.vn</p>	

表紙写真



- ① 中国緊急無償（SARS感染拡大防止）向け血液ガス分析器（出荷前検査時）
- ② アフガニスタン緊急無償による給水車の到着を喜ぶ子どもたち
- ③ 井戸が造られた地域では、住民に農業用水だけでなく衛生的な生活水ももたらされた（カンボジア）
- ④ アフガニスタン研究支援無償（地雷）日本での対爆実験に立ち会うMACA（アフガニスタン地雷対策センター）職員（左）とアフガニスタンの施主（右）



目次

JICSのビジョン	2
序文—多様化する援助ニーズに応じて	3
2003年度JICSの動き	4
第1部：総説—2003年度の主な取り組み	
特集 平和構築に取り組むJICS	
カンボジア	6
アフガニスタン	8
シエラレオネ	13
東ティモール	13
ODAにおけるJICSの役割	14
広がる援助対象国と多岐にわたる事業分野	
中国	18
エチオピア	19
タンザニア	20
セネガル	21
ネパール	22
ヨルダン	22
ウズベキスタン	23
インドネシア	24
エクアドル	24
日本NGO支援無償	25
NGO支援事業	25
適正かつ効率的な事業実施にむけて	26
幅広い事業展開のなかで	28
第2部：事業実績	
JICSの事業対象国	30
機能別事業収入実績	32
スキーム別事業収入実績	32
契約先別事業収入実績	33
無償資金協力調達監理実績	33
2003年度国別実績	34
2003年度案件リスト—無償資金協力関連事業	37
2003年度案件リスト—技術協力関連事業	42
2003年度案件リスト—借款調達監理事業	46
2003年度案件リスト—その他国際協力関連事業	47
参考資料	
年度別収支	48
2003年度事業報告	49
2003年度収支計算書	50
沿革	51
役員、評議員、歴代理事長、歴代評議員会会長	52
組織図	53
財団法人日本国際協力システム寄附行為	54



Vision

JICS [ジックス]のビジョン

私たちはわが国の政府開発援助や種々の開発途上国支援において、現地で必要とされている物品やサービスを適正かつ効果的に調達するための公益法人であり、事業の実施にあたっては次のことをお約束します。

援助 事業における 橋渡し役を務めます

私たちは、開発途上国の発展のために、最も有効に資金が活用されるよう配慮し、現地の実情に合った物品やサービスを適正な価格で効率的に調達します。援助の現場では、私たちの機動力と経験を最大限生かし、国内外援助機関とNGOや民間企業との間の橋渡し役として、各種プロジェクトの円滑な運営のためのきめ細かい支援と調整を行います。

知識と経験 を援助事業に 役立てます

私たちは、業務を通じて蓄積した情報や知識を提供するための広報活動、よりよい援助事業の探求を目的とした研究活動、開発途上国や援助現場で活動する人々に対する直接的な支援活動等に積極的に取り組むことで、途上国の発展に貢献します。

中立 的な立場を維持し、 公正性・透明性を確保します

私たちは、常に中立的な立場を維持し、公正性・透明性の確保を何よりも優先して業務を実施します。物品やサービスの調達にあたっては、法律、倫理、国際常識に十分配慮したガイドラインに基づき手続きを行います。

適正 な組織運営、人材育成に 努めます

私たちは、これまで示した役割を確実に果たすため、内部監査機能を強化し、職員と組織の法令等遵守を徹底します。また、安全管理体制を確立し、職員が安全で健康に働くことのできる職場環境を作ります。さらに、援助におけるさまざまな場面において、最適な提案と調整のできる技術、知識、経験を持った人材を確保・育成します。

Preface

多様化する 援助ニーズに応じて

財団法人日本国際協力システム(JICS)は、わが国の経済協力分野のうち、二国間贈与事業の適性かつ効率的な実施に協力することにより、一層質の高い国際協力を推進することを主な目的として、1989年4月に外務大臣の許可を得て、財団法人として設立されました。以来、外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)をはじめとする関係機関のご指導と、各国政府機関やODA関係業界等のご支援をいただきながら、順調な発展を遂げ、2004年4月12日をもって創立15周年を迎えることとなりました。これまでのご支援、ご協力に対し、関係者の皆様に深く感謝申し上げます次第です。

この15年間にODAを取り巻く環境も大きく変化してきました。政府予算は当初の拡大基調から縮減基調となり、限られた予算をより効率的・効果的に実施することが一層強く求められる時代となっています。他方で、開発戦略をめぐる援助潮流において、ミレニアム開発目標、貧困削減、人間の安全保障、平和構築といった新たな課題が提示されるなか、わが国に対する国際社会の期待は一層増大しているといえるでしょう。

こうしたODAの新たな動きに伴い、JICSの事業は年々多様化してきました。近年においてはアフガニスタン、イラク、カンボジア、シエラレオネ等における復興支援や平和構築支援分野での事業が急速に増大し、JICSはこれに積極的に取り組んできました。また新たに円借款関連やNGO支援関連の業務を受託するなど業務内容の幅を一層広げ、開発途上国の援助ニーズに的確に対応した総合的な国際調達エージェントとしての体制整備を図ってきました。



本書はJICSが発刊する最初の年報として、2003年度の事業実績と活動内容をまとめたものです。2003年度は、事業実施方針として、(1)新規事業の開拓、(2)合理化および経費削減、(3)実施体制の整備、を掲げ、これらに留意した運営を行いました。また、2003年10月に新たに「JICSのビジョン」をまとめ、JICSの指針を明確に示しました。

JICSは今後も日本の人々、世界の人々から信頼される機関として、皆様の一層のご理解とご支援を得つつ事業を実施してまいりたい所存です。本書を通じて、JICSの活動に対する皆様のご理解がさらに深まることを願っております。

財団法人日本国際協力システム
理事長 佐々木 高久

2003年度 JICSの動き

		JICSの主な動き	関連する国内外の主な動き
2003年			
4月	4月4日	東ティモール—2002年度ノン・プロジェクト無償（同国に対する初のノン・プロジェクト無償）調達代理人契約を締結	SARS被害拡大
	4月16日	アフガニスタン—2002年度研究支援無償「対アフガニスタン地雷除去機開発研究計画」調達監理契約締結	
	4月20日	カンボジア—2002年度紛争予防・平和構築無償 支援対策チーム「JSAC」発足	
	4月28日	事務所移転（新宿三信ビル（渋谷区代々木）から新宿EASTビル（新宿区富久町）へ）	
	4月29日	アフガニスタン—2003年度一般無償「警察機材整備計画」調達監理契約締結	
5月	5月1日	組織改編（業務監査室の新設）	人間の安全保障委員会報告書発表
	5月5日	シエラレオネ—2002年度紛争予防・平和構築無償案件 調達代理人契約締結	
	5月15日	アフガニスタン—2001年度緊急無償（医療分野）「国立結核センター」開所式開催（理事長出席）	
	5月16日	中国—2003年度 緊急無償（SARS感染症拡大防止）調達代理人契約締結	
	5月24日	アフガニスタン—2002年度緊急無償「カンダハル・カブール間幹線道路補修計画」道路補修機材等引渡し式開催	
	5月26日	アフガニスタン—2003年度セクター・プログラム無償「カンダハル・カブール間幹線道路補修計画」調達代理人契約締結	
6月	6月13日	2003年度第1回通常評議員会・理事会開催	パレスチナ、イスラエルの中東和平案合意
9月	9月21日	カンボジア—2002年度 紛争予防・平和構築無償案件「武器破壊式典」開催	米英主導の暫定政権「イラク統治評議会」発足（7月）
	9月24日（～10月5日）	シエラレオネ—2002年度 紛争予防・平和構築無償案件 現地モニタリング調査実施	ODA大綱改定（8月）
	9月29日（～10月1日）	第3回アフリカ開発会議 サイドイベント参加	
	9月30日	外務省日本NGO支援無償の調査業務開始	
10月		「JICSのビジョン」決定	JICA独立行政法人化
	10月1日	組織改編（「1室3部11課」から「2室3部8課」へ。人事室の設置。）	イラク復興支援国際会議で50億ドルの支援発表
	10月4日、5日	国際協カフェスティバル2003への参加	開発資金に関する国連総会ハイレベル対話
	10月28日	NGO支援事業に関する活動報告・意見交換会の開催	
11月	11月10日（～16日）	カンボジア—2002年度紛争予防・平和構築無償：JICS評議員・目黒依子上智大学教授がプロジェクト現場を視察	
	11月11日	アフガニスタン・ミニコミ誌に対する助成で、事務局長が助成対象の2社を訪問	
	11月19日	埼玉県狭山市立中央中学校生徒総合学習としてJICSを訪問	
12月	12月3日	JICSカブール事務所移転（11月22日に、JICS事務所が設置されたカブールのインターコンチネンタルホテルで爆破事件が発生）	イラン大地震
	12月16日	アフガニスタン—2003年度 道路セクター・プログラム無償案件「カンダハル・カブール間幹線道路」第1プロジェクト完工式開催	
2004年			
1月	1月16日	イラク—2003年度緊急無償案件「警察車輛等の緊急調達」調達代理人契約締結	イラクへ自衛隊派遣開始
	1月27日	2003年度NGO支援事業 支援団体決定	アフガニスタン、ロヤ・ジルガ（国民大会議）において新憲法採択
	1月28日	2KRでアルバニア政府から担当プロジェクト・マネージャーが国民栄誉賞を受賞	
3月	3月23日	2003年度第2回通常理事会・評議員会開催（理事長・評議員会会長の交代）	アフガニスタンに関する国際会議（ベルリン会合）
	3月29日	アフガニスタン—2003年度道路セクター・プログラム無償案件「カンダハル・ヘラート間幹線道路整備計画」調達代理人契約締結	
	3月31日	スリランカ—2004年度ノン・プロジェクト無償（同国に対する初のノン・プロジェクト無償）調達代理人契約締結	